



唐古・鍵遺跡 史跡公園への想い

※平成 29 年 5 月現在の写真です。

唐古・鍵遺跡史跡公園が 4 月 17 日(火)にオープンします。
今月号では、これまでの遺跡調査のあゆみと、唐古の初期の調査にかかわり、公園整備の委員を担当された寺澤薫さんに話をお伺いしました。

図 文化財保存課 ☎ 32・4404

遺跡調査のあゆみ



遺跡の発見と唐古池の調査

この遺跡が考古学界に報告されたのは明治 34 年(1901)にさかのぼります。その後、昭和 4 年(1929)に地元の飯田松治郎・恒男親子が採集品の図録を自費出版し、さらに、在野の考古学者森本六爾らも小規模な発掘調査を行っています。

昭和 11・12 年(1936・1937)、唐古池の土を利用し、檀原神宮への道(現在の国道 24 号)を整備することになり、並行して第 1 次の発掘調査が行われました。奈良県と京都帝国大学による共同調査で、末永雅雄博士が指揮をとりました。

この調査では、多数の弥生土器と木製農耕具が出土し、弥生時代が農耕社会であることを立証しました。また、調査の 6 年後に刊行された報告書は弥生時代研究の基礎となりました。



▲第 1 次調査



▲末永雅雄博士

調査の再開

戦後しばらくは調査の空白期が続きましたが、昭和52年（1977）に北幼稚園の園舎建築に伴い、第3次調査が行われました。調査では、集落を囲む南側の環濠を鍵地区で検出したことから、遺跡名が「唐古遺跡」から「唐古・鍵遺跡」へと改められました。また、銅鐸鑄型など数多くの重要な遺物が出土したことから、遺跡の範囲を確かめるための調査が始まりました。なお、第12次調査までは奈良県立橿原考古学研究所が、昭和57年（1982）の第13次調査以降は田原本町が引き継ぎ、調査を継続しました。

明らかとなる遺跡の内容

毎年3〜4カ所で範囲確認調査や水路改修等の農業基盤整備に伴う調査などを実施し、徐々に遺跡の範囲



▲第5次調査で出土した土器



▲大型建物跡

と構造が明らかになりました。集落は多重の環濠をもち、日本最大級の42万平方メートルであることがわかりました。また、鞘入り石剣、吉備産の大壺前期の木棺墓と大陸系の人骨、布きれなどの例のない遺物の出土は、この遺跡の重要性を認識させることになりました。

そして、平成4年（1992）に「楼閣が描かれた土器片」の出土が大きく報じられたことや遺跡地に「復元楼閣」を建築したことで史跡指定の機運が高まりました。また、指定に前後して遺跡の内容確認調査が行われ、銅鐸鑄造の炉跡、2棟目の大型

建物跡、弥生時代最大級・最上級のヒスイ勾玉が入った褐鉄鉾容器などが発見され、近畿地方を代表する環濠集落として認識されるに至りました。

平成11年（1999）に遺跡の中心部約10ヘクタールが史跡指定を受け、9年の歳月を経て、公園整備が完成することになりました。



▲勾玉（大・小）

▲褐鉄鉾容器・ヒスイ勾玉

未来へ受け継ぐ唐古・鍵遺跡

この史跡公園は、町民の憩いと学習の場、観光資産として活用されますが、これまで発掘調査されたのは遺跡面積のうち1割にとどまります。これからは新たな発見が期待される遺跡なのです。そして、二千年前の人々が残した貴重な文化遺産を未来へと伝えていく必要があります。



▲唐古・鍵総合サイト

「楼閣」が描かれた土器片

唐古・鍵遺跡のシンボルである「復元楼閣」の元となった絵画土器です。壺の胴部に2層以上の構造をもつ建物が描かれていました。屋根の大棟や軒先には、特徴的な渦巻き飾りが描かれています。下層の屋根の上には、横向きの逆S字形の線刻があり、屋根にとまる鳥を表現しています。渦巻き飾りや鳥が描かれていることから、宗教的な特別な建物だったと推定されています。

この絵画土器の発見は、中国大陸との交渉、また紀元前1世紀の大和に高層建築があったというところで弥生時代のイメージを大きく変えるとともに、「邪馬台国」所在地論争にも及びました。



▲「楼閣」が描かれた土器片（国の重要文化財）

4月17日(火)開園

唐古・鍵遺跡史跡公園

平成11年の国史跡の指定を受け、整備を進めていたよみがえる弥生の風景「唐古・鍵遺跡史跡公園」が、4月17日(火)に開園します。公園には、①遺構展示情報館②弥生の建物広場③生活体験広場④弥生の林エリア⑤多目的広場⑥多重環濠エリアがあり、弥生時代の集落風景が再現されました。

④弥生の林エリア

弥生時代の植生に即した樹木や草花を植えています。季節ごとに昆虫や草花などの自然観察ができます。

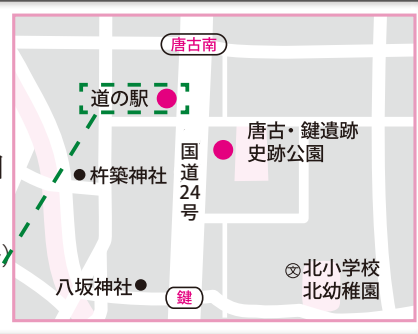


③生活体験広場

火おこしや炊飯などの弥生時代の生活体験ができます。



住所 田原本町唐古 50-2
 開園時間 午前9時～午後5時
 (入園は午後4時30分まで)
 休園日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開園し、その翌日の平日を休園)
 唐古・鍵遺跡史跡公園事務所 ☎ 34-5500 (4/17～)
 文化財保存課 ☎ 32-4404



折込チラシを見てね



4月20日(金)午前9時～ 道の駅「レスティ 唐古・鍵」オープン

さまざまな観光サービスを提供する道の駅「レスティ 唐古・鍵」が、史跡公園の向かいにオープンします。館内では、地元の新鮮な野菜、特産品の販売や飲食店が展開されています。また、展望エリアからは史跡公園などが見え、田原本町の豊かな景観を楽しむことができます。

観光・まちづくり推進課
☎ 34-2085



オープニングイベント

日時 4月20日(金)～22日(日)
午前9時～午後6時

20日については、オープニングイベント前に、楼閣太鼓による演奏、北幼稚園の園児による「ふうせん飛ばし」があります。また、タワラモトンも登場します。
※オープニングイベント時は、田原本駅、中央体育館からシャトルバスを運行



「唐古・鍵遺跡史跡公園」が完成するまでの様子



⑤多目的広場

多目的スペース
イベントなどが開催できます。(要事前申請)



約 60 台駐車可能

P
駐車場

⑥多重環濠エリア

唐古・鍵のムラを洪水や敵から守るための多重環濠（5条）の一部を復元しています。



⑦復元楼閣

土器片に描かれた絵画を元に平成6年に復元。史跡公園開園にあわせて、楼閣を修繕しました。



①遺構展示情報館（公園事務所）

史跡公園全体のガイダンス施設。発掘調査で発見された大型建物跡の柱穴を型取りした模型を展示しています。事前予約制で唐古・鍵遺跡について、公園ボランティアガイドの解説を聞くことができます。



②弥生の建物広場

発掘調査で発見された大型建物を立柱で復元しています。



史跡公園への想いを

継承してもらいたい

唐古・鍵遺跡の調査や公園整備の委員を担当された寺澤薫さんに、唐古・鍵遺跡や史跡公園への想いを、町でこの調査に関わった教育委員会事務局の藤田三郎が伺いました。



桜井市纏向学研究センター所長

寺澤 薫さん

1977年～1980年…唐古・鍵遺跡の調査にかかわる。2009年～現在…唐古・鍵遺跡整備委員を務める。

藤田 遺跡の内容がわからない唐古の初期の調査（第3次調査／1977年）にかかわられてどうでしたか。

寺澤 唐古遺跡は教科書にも載っている、ものすごく有名な遺跡ですが、集落としての実態はほとんどわかりませんでした。あの時の発掘で環濠が見つかり、南限が確定したことが大きな成果です。

藤田 あの調査がきっかけで遺跡の名称も変わりましたね。
寺澤 環濠が出たところが鍵だったのです。このことから、唐古と鍵の両方にまたがる、とんでもなく大きな遺跡だとわかったのが、最大の成果だと思います。

藤田 寺澤さんは4年間、範囲確認調査に関わられてどんなところが大変でしたか。

寺澤 調査が難しく、この遺跡は簡単には掘れないと思

ブルで開発が進み、遺跡が保存できるか不安でした。
寺澤 史跡までは長かったですね。今では公園整備され、24号沿いで人を集客するにはいい場所です。そこまでもつていくには大変なご苦労があったと思います。沿道開発が進んで、史跡指定は私も無理ではないかと思いました。

藤田 整備委員を務められて遺跡を公園にするところの難しさはありますか。

寺澤 指定から19年もの期間をかけてじっくりいろんな分野の人たちが公園のために時間とお金をかけました。このような体制の中で整備ができたことは、全国の中でもすごいことだと思います。例えば、木1本を植えるにしても一つ一つ議論してきたことはすごいことです。

藤田 今後の史跡公園への想いを聞かせてください。

寺澤 唐古・鍵遺跡整備委員会では、この史跡公園を当時の弥生時代の人たちが見た風景や環境、生活が体現できるようにしたい想いがあります。それが維持できることが一番大事です。例えば、木が

弱っていつて、せっかく植えたものを伐採せざるをえないとか。史跡公園は作るまでも大変ですが、これから何十年も残していくことになる、維持管理が重要です。体制づくり、そういうことができる人間がきちんとやっていかないといけないと思います。
藤田 文化財という仕事は、いかに継承していくかが大切です。公園を作った私たちの想いが次の世代につながり、公園が維持される、また、その想いが伝わっていくことが大切です。皆さんに満足していただける公園にしなければなりません。



唐古・鍵遺跡出土品 1,921 点が 国の重要文化財に指定

☎ 文化財保存課 ☎ 32-4404



国の文化審議会は、3月9日に国史跡である唐古・鍵遺跡の出土品を重要文化財に指定することについて、文部科学大臣に答申しました。唐古・鍵遺跡の第1次調査で出土した京都大学（国有119点）と奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（県有40点）が所有する出土品は、昭和42年（1967）に指定されていましたが、今回、本町が所有している同遺

跡の出土品1,921点加わり、同遺跡の重要文化財は、弥生遺跡としては全国最多級の2,080点となりました。

唐古・鍵遺跡は、平成11年の史跡指定と今回の出土品の指定により、両者が国指定の文化財となります。これにより、本町が昭和52年（1977）から継続的に進めてきた唐古・鍵遺跡保存の集大成が成就されることになりました。史跡地は、この4月に「唐古・鍵遺跡史跡公園」として、出土品は6月にリニューアルオープン予定の「唐古・鍵考古学ミュージアム」（詳しくは広報5月号に掲載）で展示され、皆さんにお披露目されることとなります。

新指定された唐古・鍵遺跡の出土品の一部は、4月17日（火）～5月6日（日）に東京国立博物館で開催される「平成30年新指定国宝・重要文化財」展において一足早く公開されます。

指定された出土品 (1,921点)の内訳

| 出土品 | 点数 |
|--------|------|
| 土器・土製品 | 803点 |
| 木器・木製品 | 203点 |
| 石器・石製品 | 633点 |
| 鑄造関連遺物 | 134点 |
| 金属製品 | 19点 |
| ガラス製品 | 34点 |
| 骨角牙製品 | 83点 |
| 繊維製品残欠 | 7点 |
| 稲穂束残欠 | 1点 |
| 炭化食物 | 4点 |

国の重要文化財をご案内くださるボランティアを募集

6月1日に唐古・鍵考古学ミュージアムがリニューアルし、国の重要文化財に指定された出土品が皆さんにお披露目されます。あなたも展示ガイドボランティアをしてみませんか。

活動内容 常設展示解説案内

応募資格 次の条件をすべて満たす人

- 平成30年6月1日現在、18歳以上の健康な人
- 月1回以上活動ができる人
- 事前研修（5月17日（木）・30日（水）・6月14日（木））

をすべて受講できる人

活動期間 6月1日（金）～平成31年3月31日（日）

※報酬、交通費などは支給しません。

応募方法 5月2日（水）までに応募用紙に必要事項を記入のうえ、応募先に郵送または持参。

※応募書類は返却できません。また、目的以外には使用しません。

☎・応募先 田原本町教育委員会事務局文化財保存課
〒636-0247 田原本町阪手347-1 / ☎32-4404

2/
15

唐古・鍵遺跡史跡公園の活用に 大和磯城ライオンズクラブが寄付

唐古・鍵遺跡史跡公園に「えんめいせき園名石」と「時計」を設置するため、大和磯城ライオンズクラブからふるさと応援寄附金（200万円）が贈呈されました。

